支援プログラム

事業所名　さくらんぼ　　作成日　2024年11月1日

法人（事業所）理念	こどもたち一人ひとりにあった自立力向上の為の支援をします。				
支援方針	様々な活動・体験機会の提供を通じて、現在抱える家族、子どもの困り事や生き辛さを改善し、子ども達が生き抜く力を育み支える。				
営業時間	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無　（あり）　なし
	支援内容				
	放課後等デイサービス				
本人支援 健康・生活	※到着時の検温やバイタルチェック、ご家族からの朝の健康状態の確認。 ※定期的利用を継続し、デイサービスでの生活リズム（食事、排泄、運動、休息など）の定着を図る。 ※基本的な生活スキルと身辺自立へのサポート。				
本人支援 運動・感覚	※さまざまな活動や遊びを通して、身体や手先の使い方を覚えます。 ※適切な姿勢や動作を習得するため運動や感覚総合遊びを通し周囲に合わせた動きががができるように支援の実施（下記を取り入れる）。 1，触覚を刺激し基礎感覚　2，全身運動で協調性を育む　3，視覚と動きの連携を高める　4，日常動作を取り入れる　5，集団遊びで社会性と協調性を養う				
本人支援 認知・行動	※空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで見通しを持った自主的な行動につなげます。 ※自分の得意なことや苦手なことなど知り、自己理解をしていくことを促します。 ※自分の気持ちや行動に気づき適切な行動への対応の支援を行います。				
本人支援 言語コミュニケーション	※コミュニケーション言語・非言語（表情、声のトーン）のやり取りにより相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう支援する。 ※自分の思いや要求を相手の状況に応じて適切なやり取りを促します。 ※コミュニケーション手段として指さしや選択制や視覚からを取り入れ意思伝達がしやすい様に支援します。				
本人支援 人間関係社会性	※活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて友達との協同・集団遊びへの取り組みややり取りを通して、適切な人間関係の形成を促します。 ※自分の感情や気持ちを理解し情緒の安定を図ります。 ※他者の気持ちや意図を理解したり、生活をする上で適切な行動をとるなど必要なソーシャルスキルの支援を行います。				
家族支援	※子どもの発達や状況や特性の理解に向けた相談援助。 ※家庭や子育ての困りごとの援助。 ※連絡帳、電話、SNS、訪問ご家庭に合わせた相談援助。		移行支援		※進路先や移行先への相談援助や情報提供。 ※併用利用先や学校との情報共有や支援の連携。
地域支援・地域連携	※スムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の担任の先生、併用している他の支援事業所担当との連絡調整や連携の実施。		職員の質の向上		※年間研修に基づき、計画かつ定期的に全職員及び職別の研修を実施する。 ※施設支援一般指導（訪問）を利用し学習会や当該児への指導助言を行う。
主な行事等	外出活動（春夏秋冬）、節分、ひな祭り、端午の節句、七夕、夏祭り、収穫祭、クリスマス、ハロウィン、誕生会（毎月）、社会見学、長期休みイベントなど				